

AOKI Kiyohisa

青木 聖久 アオキ キヨヒサ

准教授

修士(福祉社会学:京都市立大学)

日本福祉大学社会福祉学部卒業(1988), 京都市立大学大学院福祉社会学研究科修了(2004), 財団法人慈恵会慈恵病院PSW(1988~1991), 医療法人社団東峰会関西青少年サナトリウムPSW(1991~2002), NPO 法人居場所サポートセンター西明石「精神障害者小規模作業所」所長(2002~2006), 神戸親和女子大学発達教育学部講師(2004~2006), 日本福祉大学赴任(2006).

【研究分野】

社会福祉学.

【キーワード】

精神障害者, 精神保健福祉士, 所得保障, 障害年金, 無年金障害者問題, 普及啓発.

【担当授業科目】

通信教育部: 精神保健福祉援助実習, 精神保健福祉援助演習, 精神保健福祉論, 精神保健福祉援助技術総論, 精神保健福祉援助技術各論, 精神障害者と福祉実践 I, 精神障害者と福祉実践 II, 研究論文指導.

【主な研究テーマ】

1. 精神保健福祉士の可能性

精神保健福祉士の専門性とされる価値・知識・技術の各々の中身の精査, またそれらの関係性等を通じ, さらなる可能性を追求する.

2. 精神障害者の自立生活に果たす所得保障制度の機能と役割

障害受容という発想から視点を変えて, 所得保障に着眼し, 経済面の充実が自立に果たす有効性について検証する.

3. ボランティアを有効活用した精神障害者の普及啓発の方法論

精神障害者に対する偏見の除去のキーパーソンとして, ネットワークの広いボランティアに注目した上で, その普及啓発のあり方を探っていく.

【主な研究業績】

＜著書＞

- 『精神保健福祉白書2011年版 岐路に立つ精神保健医療福祉—新たな構築をめざして』 総頁217p, 共著, 「年金」 pp. 128-132, 中央法規出版, 2010. 12.
- 『新版精神保健福祉 全訂版』 総頁246p, 共編著, 「精神保健福祉士による相談援助活動」 pp. 111-131, 学文社, 2010. 03.
- 『精神保健福祉白書2010年版』 総頁212p, 共著, 「年金」 pp. 116-120, 中央法規出版, 2009. 12.
- 『第二版 精神保健福祉士 (PSW) の魅力と可能性』 総頁259p, 単著, やどかり出版, 2009. 06.
- 『保健医療サービス』 総頁248p, 共著, 「精神障害を抱えた人びとや家族に対する相談・援助活動」 pp. 187-203, 学文社, 2009. 04.
- 『精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉援助演習』 総頁286p, 編集委員, 「事例演習: セルフヘルプグループの支援」 pp. 263-267, 中央法規出版, 2009. 02.
- 『第二版 社会人のための精神保健福祉士 (PSW) 』 総頁204p, 編著, 約半分, 学文社, 2008. 11.
- 『新版障害者福祉』 総頁154p, 共編著, 「障害者と社会保障制度・社会資源」 pp. 105-120, 学文社, 2008. 01.
- 『新版精神保健福祉援助技術 I (総論)』 総頁169p, 共編著, 「精神障害者に対する社会福祉サービスと援助活動」 pp. 17-34, 学文社, 2008. 01.

＜論文＞

- 「家族が立ち向かう精神障害者の障害年金受給促進活動についての一考察—愛知県地域家族会が取り組んできた「精神障害者の障害年金受給実態調査」を通して—」, 『響き合う街で』第53号, 単著, やどかり出版, 2010. 05, pp. 3-12.
- 「精神障害者の生活支援にはたす価値の多様性と障害年金—3人の支援者へのインタビュー調査を通して—」, 『日本の地域福祉』第23巻, 単著, 日本地域福祉学会, 2010. 03, pp. 93-105.
- 「障害年金に着眼した精神障害者の生活支援についての一考察—わが国における1980年代後半以降の研究及び実践動向を通して—」, 『日本福祉大学社会福祉論集』第121号, 単著, 日本福祉大学社会福祉学部・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2009. 09, pp. 15-27.
- 「精神障害者小規模作業所の現状と魅力ある方向性への一考察—愛知県精神保健福祉センター「地域精神保健医療福祉対策研究会」での取り組みを通して—」, 『日本福祉大学社会福祉論集』第117号, 単著, 日本福祉大学社会福祉学部・日本福祉大学福祉社会開発研究所, 2007. 08, pp. 73-99.
- 「精神障害者の自己実現を支える所得保障—支援者の視点から障害年金の意義を中心に—」, 『神戸親和女子大学研究論叢』第38号, 単著, 神戸親和女子大学, 2005. 03, pp. 21-43.

＜学会発表＞

- 精神障がい者の障害年金受給が広がるための方途—4つの家族会主催の研修会でのアンケート調査を通して—, 日本病院・地域精神医学会, 2010. 11.
- 障害年金受給支援における新たなアプローチ—社会保険労務士へのインタビュー調査を通して—, 日本精神保健福祉士協会, 2010. 06.
- 社会人学生精神保健福祉士養成教育における意義と可能性—日本福祉大学通信教育部の教育実践を通して—, 日本精神保健福祉士協会, 2010. 06.
- 家族が立ち向かう精神障害者の障害年金受給促進活動についての一考察—愛知県地域家族会が取り組んできた「精神障害者の障害年金受給の実態調査」等を通して—, やどかり研究所, 2010. 02.
- 社会保険労務士の活用に着眼した精神障害者の生活支援—障害年金を入口にして—, 日本社会福祉学会第57回全国大会, 2009. 10.
- 精神障害者の暮らしにはたす障害年金についての一考察—生活実態調査や障害年金の認知及び意識調査を通して—, 第52回日本病院・地域精神医学会総会, 2009. 09.
- 精神保健福祉士実習教育の課題—社会人学生に着眼して—, 第45回社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会・第8回日本精神保健福祉学会, 2009. 06.

【所属学会】

日本精神保健福祉士学会 (日本精神保健福祉士協会) (1989~), 日本病院・地域精神医学会 (1994~), 日本福祉大学社会福祉学会 (1999~), 日本社会福祉学会 (2004~), 日本社会福祉学会 (1998~), 日本地域福祉学会 (2008~), 日本精神障害者リハビリテーション学会 (2009~).